

2022年9月28日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 光 行 康 明  
(コード番号:3856 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 : 管 理 本 部 長 小 野 公 久  
電 話 : 0 3 - 6 8 6 4 - 4 0 0 1 ( 代 表 )

## サステナビリティ・リンク・ローン契約締結に関するお知らせ

当社子会社の WWB 株式会社(以下、「WWB」という。本社:東京都品川区、代表取締役社長:増田 裕一郎)は、株式会社広島銀行(本社:広島県広島市、代表取締役頭取:清宗 一男)より、「<ひろぎん>サステナビリティ・リンク・ローン」契約に基づいて、運転資金を調達する運びとなりましたので、お知らせいたします。

本融資は、脱炭素化への社会的な貢献が認められる企業を対象に、その貢献度に応じて、金利スプレッドが調整されるサステナビリティ・リンク型のローンです。融資実行にあたって、WWB は、温室効果ガスの削減に繋がる、「再生可能エネルギー発電設備の発電容量」を評価指標(KPI)として、達成すべき目標設定(SPT)を行っております。

融資実行にあたっては、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への整合性が確認されており、WWB は目標設定後の進捗状況を株式会社広島銀行へ定期的に報告する予定です。今回の融資フレームワークにおいては、KPI の選定や SPT の測定等に客観性を担保するため、ひろぎんエリアデザイン株式会社に検証・レビューを依頼しております。

この度調達した資金につきましては、WWB の ESG・SDGs 経営を実践するための運転資金として活用する方針です。今後も再生可能エネルギーの普及を図るべく、グリーンエネルギー事業の推進により、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 【融資概要】

契約締結日	2022年9月28日
融資金額	4億円
融資期間	5年
S P T <sup>(*)</sup>	自社保有の再生可能エネルギー発電設備の発電容量の増加(2031年まで毎年昨対比で5MW以上(DCベース))
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性、及び SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオンを取得しております。

<sup>(\*)</sup>SPT とは、サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの略称であり、発行体が表明する、事前に設定した時間軸における、KPI の測定可能な改善目標を指します。

## 【企業概要】

契約主体	WWB株式会社
本社所在地	東京都品川区東品川2-2-4 天王洲ファーストタワー5F
代表者	代表取締役社長 増田 裕一郎
業種	電気供給業
事業内容等	太陽光発電システム製品販売、太陽光発電所建設、電気事業等

<ご参考> 「Abalance グループ中期経営計画(2022-24)」より抜粋

## ■ Abalanceグループビジョン For 2030



### ◆ 企業理念 : Best Values

先進的な商品・業務・サービスの提供を中心に、価値の創造を通じて  
社会生活の改善と向上を図り、社会の持続可能な発展に貢献し続ける

### ◆ 2030年グループが目指す姿

**“再生可能エネルギーの中核的グローバル企業”**

【基本戦略】 保有発電容量1GW、年間製造目標8GW

### 外部環境の変化

企業行動は、脱炭素化へ  
(自社で使用する電力を再生可能エ  
ネルギーにするRE100など)

#### 【世界市場】

欧州: 各国で、カーボンニュートラル  
今後10年間、1兆€投資目標

米国: パリ協定復帰、再エネシフト

中国: 2060年カーボンニュートラル  
(温暖化ガス削減の開示枠組み)

→ 国際機関は、脱炭素化に向けた行動指  
針の開示を企業に求める新指針を発表

#### 【国内市場】

EU等と比べて、1周遅れのなかで、  
矢継ぎ早に政策が提言されている状況

- ✓ 2050年、カーボンニュートラル
- ✓ 13年度比46%、温暖化ガス排出削減
- ✓ 改正地球温暖化対策推進法の成立
- ✓ 第6次エネルギー基本計画 等

以上